



日 本自動車会議所は4月7日、8日の両日、東京・新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2018 新宿」を開催した。「交通安全。アクション」は、春と秋の年2回開催しており、例年、春は全国交通安全運動期間中に行っている。多くの人々が訪れるターミナル駅「新宿」での開催ということもあり、家族連れなど大勢の人で賑わった。来場者は2日間で7,700人（主催者集計）に上り、盛況のうちに幕を閉じた。

「アクション2018 新宿」は警視庁新宿警察署との共同開催で、内閣府、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都が後援し、当会議所の会員団体はじめ開催の趣旨に賛同する46の団体・企業などが参画。「高齢者をはじめ体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する」を主なテーマとし、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる15の体験型ブースプログラムを用意したほか、交通安全ビンゴ大会や、交通安全を楽しく学ぶアトラクション、落語などのステージショーも行われ、小さな子どもから高齢者まで多くの来場者がイベントを楽しんだ。

初日には、新宿警察署によるオープニングセレモニーに先立ち、当会議所の中島哲専務理事が主催者を代表して挨拶。中島専務は、「交通事故死者数は減少傾向にあるとはいえ、いまだに年間約3,700人の方が亡くなっています。そうした中開催される

このイベントは、時間も場所もスタッフも限られていますが、われわれの努力で1人でも2人でも事故で亡くなる人を減らしていきましょう」と呼び掛けた。

オープニングセレモニーでは、新宿警察署の上野洋明署長が、「新宿警察署管内では2年3カ月にわたって死亡事故が発生していません。これを3年、4年、未来永劫へと続けていく必要があります」と挨拶。この後、同署から一日署長に任命された女優の森迫永依（もりさこ・えい）さんと新宿交通少年団BAGSが「交通事故のない街になるように努力することを誓います」と交通安全宣言をしてイベントが始まった。

昨年の交通事故死者数は3,694人で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となった。死者数は減少傾向にあるものの、全死者数のうち、高齢者の占める割合は54.7%に達し、高止まりの状況にある。このため、今回の「アクション2018 新宿」では、初参画の北里大学による運転視機能チェックの体験ができるブースが出展されるなど、高齢者への訴求を意識したプログラムも多数企画して開催した。また、各ブースをまわってスタンプを5個以上集めた参加者に、協力団体・企業のノベルティー・グッズなどの景品をプレゼントする「スタンプラリー」も実施し、たくさん子どもたちが一生懸命にブースを回る姿も見られた。

秋には家族連れやカップルなどで賑わう東京・お台場で開催する予定。

「交通安全。アクション2018 新宿」

会場風景



新宿警察署の一日署長に任命された女優の森迫永依さん



反射材を使ったパネルに小型ライトの光を当てて効果を体験する参加者の皆さん



タフィーさんの司会・進行で楽しみながら交通安全を学べる「交通安全〇×クイズ」



子どもからお年寄りまで大勢の人が楽しんだ「交通安全ビンゴ大会」



話芸で来場者の心をつかむ落語家の古今亭文菊さんの寄席は毎回“満員御礼”



ピーポくんととの記念撮影会はいつも親子の笑顔でいっぱい



子どもたちの楽しみのがチャガチャが待っている、スタンプラリーのスタート&ゴールの「総合受付」



白バイ搭乗体験
(警視庁・警視庁新宿警察署)



歩行者シミュレータ
(東京都青少年・治安対策本部)



高齢者交通安全啓発コーナー
(北里大学医療衛生学部・共同ブース)



首都高安全広報隊
(首都高速道路)



電動車いすの安全利用
(電動車いす安全普及協会)



おでかけぱんだ・頭部保護帽
(日本自動車研究所)



ライディングシミュレータ&ゲンチャレ
(日本二輪車普及安全協会)



てんけんくんぬりえ体験コーナー
(日本自動車整備振興会連合会)



オートバイ用胸部プロテクター
(全国二輪車用品連合会)



俊敏性測定「あなたの俊敏性は何歳？」
(イーティエフ)



自動車運転適性診断「ナスバネット」
(自動車事故対策機構)



反射材効果体験
(日本自動車連盟/JAF)



エコドライブで交通安全
(東京都トラック協会)



交通安全約束手形
(共同ブース)



飲酒疑似体験ウォーキング
(共同ブース)



飲酒運転事故加害者の手記「贖(あがな)いの日々」
(東京都交通安全協会)

「交通安全。アクション2018 新宿」開催概要

- 【日時】 4月7日(土)12時00分～17時00分
4月8日(日)11時00分～16時00分
- 【場所】 東京・新宿駅西口広場イベントコーナー
(〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目地先)

プログラム概要(カッコ内は出展団体・企業。順不同)

〈ステージプログラム〉

▽警視庁新宿署による交通安全イベント ▽交通安全アトラクション ▽交通安全ビンゴ大会 ▽寄席

〈ブースプログラム〉

▽ライディングシミュレータ&ゲンチャレ(日本二輪車普及安全協会) ▽反射材効果体験(JAF)
▽おでかけばんだ・頭部保護帽(日本自動車研究所) ▽俊敏性測定「あなたの俊敏性は何歳？」
(イーティエフ) ▽てんけんくぬりえ体験コーナー(日本自動車整備振興会連合会) ▽自動車運
転適性診断「ナスバネット」(自動車事故対策機構) ▽首都高安全広報隊(首都高速道路) ▽白バ
イ搭乗体験(警視庁、警視庁新宿警察署) ▽歩行者シミュレータ(東京都) ▽電動車いすの安全利
用(電動車いす安全普及協会) ▽エコドライブで交通安全(東京都トラック協会) ▽オートバイ用
胸部プロテクター(全国二輪車用品連合会) ▽高齢者交通安全啓発コーナー(北里大学、共同ブ
ース) ▽交通安全約束手形(共同ブース) ▽飲酒疑似体験ウォーキングゲーム(共同ブース)

〈その他のプログラム〉

▽スタンプラリー ▽飲酒運転根絶訴求パネル展示コーナー ほか

主催、後援および参画団体・企業一覧

〔主催〕

一般社団法人 日本自動車会議所、警視庁新宿警察署

〔後援〕

内閣府、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都

〔協賛〕

「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」推進委員会

〔協力〕(順不同)

警視庁、警視庁新宿警察署、東京都青少年・治安対策本部、新宿区、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本自動車車体工業会、(一社)日本自動車タイヤ協会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(公社)全日本トラック協会、(公社)全国通運連盟、(公社)日本バス協会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本損害保険協会、(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会、(一社)全国レンタカー協会、(一社)日本自動車リース協会連合会、東京都自動車会議所、(一財)全日本交通安全協会、(公財)日本自動車教育振興財団、(一社)日本二輪車普及安全協会、(一社)日本自動車運行管理協会、(一社)自動車用品小売業協会、(一財)日本自動車研究所、(一社)日本自動車連盟、全日本自動車産業労働組合総連合会、独立行政法人自動車事故対策機構、首都高速道路株、(一財)首都高速道路厚生会、(一社)日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会、電動車いす安全普及協会、(一社)東京都トラック協会、(一財)東京都交通安全協会、(一社)全国二輪車用品連合会、(一財)道路交通情報通信システムセンター、北里大学医療衛生学部、オリンパスメモリーワークス、NPO法人全国盲導犬施設連合会、イーティエフ株、(有)広報企画、(株)エフエム大阪

<計 46 団体・企業>